

日本経済入門Ⅱ

科目ナンバリング ECP-102
選択必修 2単位

岡本 勉

1. 授業の概要(ねらい)

君たちは、大学の経済学部 of 学生です。
私は経済学部の学生ですと、胸を張って言えるようになります。
そのためには、日本経済について、知っておくべきことを学ばなければなりません。
秋学期は、春に比べ、少し難しい内容に踏み込みます。
しっかりとついてきてください。

2. 授業の到達目標

高校時代は、テレビのニュースを見ても、右の耳から左の耳へ、言葉が通り抜けるだけだったでしょう。
この日本経済入門の春学期、秋学期で、新聞の記事、テレビの経済ニュースが分かるようにになりたいと思います。
ニュースが分かれば、ニュースがおもしろくなってきます。
そうすれば、家族や親せき、知り合い、知人から、
「コロナで日本経済、どうなるの?」「GDPって、何?」と聞かれても、説明することができます。
それが、大きな目標です。

3. 成績評価の方法および基準

オンライン講義になった場合、毎回、課題を出します。
課題に答えたことによって、その回を、出席とします。
課題の答えは、全部、目を通しますので、それで、普段の評価をします。
講義の最終回に、講義内試験をし、それで評価を決めます。

4. 教科書・参考文献

教科書
教科書は定めません。
しかし、新聞、テレビ、あるいはネットでもかまいませんが、
日々のニュースを、しっかりウオッチしてください。

5. 準備学修の内容

6. その他履修上の注意事項

講義内容は、日本経済の変化によって、大きく変わります。
以下の授業内容は、あくまで、ひとつの目安としてください。

7. 授業内容

- 【第1回】 第1回は、春学期の試験の講評をし、春学期の内容をざっと復習します。
そして、秋学期に何をするかを、伝えます。
- 【第2回】 日本の首相とアメリカの大統領
2020年には、日本で安倍首相が退任し、菅首相が誕生しました。
アメリカでは、トランプ大統領が退任し、バイデン大統領が誕生しました。
テレビのワイドショーは、アメリカでは国民の投票で大統領を選ぶのに、日本の首相選は国民が参加していないといって、
なにやら、批判ばかりしていました。
しかし、本当にそうでしょうか?
- 【第3回】 日本の首相とアメリカの大統領 その2
首相と大統領って、どこが違うのでしょうか。
君は、説明できるかな?
それに、首相と国会、大統領と議会の関係って、どうなっているのでしょうか。
それが分かると、政府の経済政策が理解できます。
- 【第4回】 円高、円安
1ドル=100円と1ドル=120円は、どちらが円高なんだろう。
日本から海外への輸出は、円高だと、有利になるのか、不利になるのか、どっちだろう。
円高、円安の基礎を学ぶ。
- 【第5回】 外国為替市場
外国為替市場は、なんと読みますか?
外国為替市場を略していうと、外為市場というのだが、これは、いった、何と読みますか?
では、外為市場って、そもそも、どこにあるのか知ってるかな?
- 【第6回】 日銀と各国の中央銀行、公定歩合
どの国も、中央銀行を設置している。日本の中央銀行は、日銀だ。
アメリカやイギリス、中国の中央銀行は何と呼ぶのだろうか。
公定歩合って、何のことだろう。

- 【第7回】 財政と金融
政府の経済政策は、財政政策と金融政策のふたつに分かれます。
財政政策を担当するのが財務省します。
金融政策は、日銀が担当します。
では、財政政策って、日本経済にどんな影響があるのだろうか。
そして、金融政策は、日本経済をどう動かすのだろうか。
- 【第8回】 株式市場
株式市場と外国為替市場は、それぞれ、違う市場です。
株式市場は、どこにあるのだろうか。
そして、株式市場では、日々、何が行われているのだろうか。
- 【第9回】 ひとまずのまとめ
前回まででの講義で、円高・円安、外為市場、株式市場、財政政策と金融政策について、学んできました。
いずれも大変重要な分野で、それぞれが独立したひとつの講義になるぐらいの内容があります。
それを駆け足で見てきたので、ここで、ひとまず、復習を兼ねて整理します。
- 【第10回】 経済と政治
アメリカでは、大きなデモが報じられたりします。
でも、日本では、デモって、まず、見たことがないでしょう？
とくに、日本の若者、そう、君たちのことですが、若者は政治に関心がないと言われます。
本当にそうだろうか。
かつては、日本でも、ものすごいデモがありました。
日本でも、若者が政治に強い関心を持っていた時代があります。
どうして政治に関心がなくなったのだろうか？
- 【第11回】 日本経済の最強の時代
1970年代から1980年代の日本経済は、世界最強と評価されるような強力な状態で、アメリカを激しく追い上げていました。
日本は巨額の貿易黒字を出し、アメリカとの間で、日米貿易摩擦を引き起こしました。
日本が出す巨額の貿易黒字に欧米から批判が高まり、欧米は円安が日本の黒字の原因だと指摘しました。
いま、アメリカと中国が対立していますが、当時は、アメリカと日本が対立していたのです。
そして、1985年9月、日本、アメリカ、ドイツ、イギリス、フランスの5か国(G5)は、
ニューヨークのプラザホテルに集まり、円安を円高に転換することで合意しました。ここで、日本経済は大きな転機を迎えます。
- 【第12回】 バブルと日本
バブルという言葉聞いたことがあると思います。
バブルって、何だろう？
そもそも、バブルって、いつの話だろう。
バブルは1988年、89年のまるまる2年間のことを言います。
バブルの原因、実態、バブルのころの日本について、学びます。
- 【第13回】 失われた20年と政権交代
1990年に、バブルは崩壊します。
その後、日本は長い長い不況の時代に入りました。
それを、失われた20年といいます。
失われた20年で自民政権は支持を失い、2009年8月の選挙で民主党政権が誕生しました。
しかし、民主党政権は無策というほかに、日本経済はいよいよ低迷してしまいます。
- 【第14回】 再び自民政権とアベノミクス
国民は民主党に失望し、2012年12月の総選挙で自民党政権に返り咲きました。
そこで安倍首相が登場し、アベノミクスを打ち出しました。
アベノミクスで、失われた20年には、ひとまず、終止符が打たれました。
菅首相は、安倍首相の政策を継承すると話しています。
では、日本経済は、これから、どうなるのか。
日本経済の今後を展望します。
- 【第15回】 最終回
まとめと期末テスト